

# 議会だより

## 定例会

令和7年第4回定例会は12月11日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

### 委員会報告

#### 総務産業常任委員会

- 調査期日 10月10日(金)
- 調査事項 国民健康保険事業の運営状況及び保健事業の実施状況について
- 調査結果 指摘事項なし
- 調査期日 11月21日(金)
- 調査事項 ひまわり油の状況について
- 調査結果 指摘事項なし

### 諮問

○人権擁護委員の候補者の推薦について

南 秀幸 氏(新)

### 同意

○名誉町民の推戴について  
本町の振興発展に寄与したため

佐野 豊 氏

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

白岡 直樹 氏(再)

### 原案可決

- 北竜町表彰条例の一部改正について
- 北竜町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について
- 職員の給与に関する条例の一部改正について
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 北竜町第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について
- 北竜町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 令和7年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について
- 令和7年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

## 活動報告

- 令和7年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第1号)について
- 令和7年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- 令和7年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)について
- 令和7年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第3号)について
- 令和7年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について
- 令和7年度北竜町一般会計補正予算(第4号)について

## 活動予定

- 会並びに優良勤続者表彰式
- 19日：例月出納検査(監査委員)
- 20日：議会運営委員会、北竜町議会第1回臨時会
- 21日：北空知議会議長連絡協議会新年交礼会
- 27日：総務産業常任委員会
- 28日：議会等OB会新年会
- 【2月】
- 5日：空知町村議会議長会第1回定期総会
- 17日：中・北空知廃棄物処理広域連合議会定例会
- 20日：北海道監査委員協議会定例会、研修会(監査委員)
- 未定：例月出納検査



# 一般質問

12月11日に開会された第4回定例会では、4名の議員から5件の一般質問がありました。



沖野議員

## 奨学金制度について

### 沖野議員

近年、大学、短大、専門学校などの授業料の値上げと、家賃、水道光熱費などの物価高騰の影響で学生や家族の負担が増えてきている。

現在の北竜町奨学金制度は、月額 大学生3万5千円、短大生3万円、高校生2万円に設定されているが、今後の物価上昇を見据えた奨学金設定にできないか理事者の考えを伺いたい。

### 田中教育長

近年の物価、授業料、家賃などの上昇により学生や家庭の負担が重くなっていることは教育委員会としても重要な課題として認識している。

これまでも奨学金利用促進や保証人の人数の削減などの

制度の改善を進めているが、

昨今の物価高騰や生活環境の変化で現在の貸付額が十分であるか検討していく。

貸付金額を増やした場合に将来償還額が増えることになり、卒業後の負担が重くならないように配慮が不可欠で、制度全体のバランスを見

て検討することが重要だ。

教育委員会としては物価の動向、国や道の支援策、他自治体の制度などを分析しつつ、貸付額見直しの是非や返済負担を抑える方策など制度全体のあり方について検討していく。

何より、子供たちが経済的理由で進学を断念する事が無いようにしていきたい。

### 沖野議員

近隣では、設定が最高5万円の町もある。授業料も国立大学の値上げが決定している所もあり、準じて他学校も授



尾崎議員

## やわら保育園の給食について

### 尾崎議員

やわら保育園の給食に関しての質問には令和6年4月の定例会で「絶対にする」と答弁をいただき、続いて令和6年9月に「北竜町立やわら保育園の認可保育園移行と給食委託進捗状況は」の質問のお

答えとして「認可保育園移行の考えはないが、給食については諦めるつもりはない。粘り強く前向きに踏み出せるように進める」との答弁をいただいている。

あれから1年3カ月が経過し未だに実施に至っていないが、この先の明確なお考えを伺いたい。

業料の値上げが行われると予想されているので、それらを見据えた奨学金設定を検討してほしい。

### 佐々木町長

調理室設備の関係上外部搬入となるが、その場合は注文数や搬入ルート、アレルギー対応の問題等で受託業者が見つかからない。

永楽園の委託業者を変更するに伴い、1社に検討の余地があるが、米価高騰の影響で地元の米を使わない可能性があり、是非ひまわりライスで、との話を進めている。

### 尾崎議員

11月に厚沢部町の認定こども園「はぜる」を議員職員で視察した。

北竜町とほぼ時を同じくして建てられたこども園で、建築が決まってから園長さんを

始め、関わる皆さんでしっかりと3年かけて『あそびの中から学ぶ』という共通理念を基に建てられたとのこと。理念通りの保育体制の中で、子どもたちの目は輝き、さらに保育園留学で成果を上げ、同時に町にとっても経済効果や関係人口の面でも実績を上げている。

初動態勢からの出遅れが現在の状況に大きく影響していると思われるが、子どもたちが園で過ごす時間はあつという間なので一日も早く進めていただきたい。

### 佐々木町長

第三次子ども子育て支援政策として、行政ばかりでなく教育委員会も一緒になって、また地方創生の取り組みも併せて「子育てビジョン」として子どもが自ら遊びの中での成長を促す取り組みも計画されているので期待していただきたい。

給食に対する現場では依然多くの角度からの問題があるので、それを踏まえ進めたい。





林議員

## 補聴器購入費の助成について

林議員

北竜町では現在補聴器購入費の助成は身体障害者手帳を所持している方のみである。

加齢により難聴になると人との会話や外出が減り、話さない時間が続く事が認知症のリスクと深く関わっていることが近年の研究でもわかってきているとのこと。加齢により難聴になっている方が、認知症にならないためにも、ぜひ補聴器購入費の助成をしていただきたいと考えるが、理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

難聴を引き起こす原因には加齢の他にストレスなど環境の要因があるとも聞いている。高齢者に限らず、特にお子さんなど難聴が障害となってしまう方についても当然考えるべきと思っている。国や道、その他近隣自治体の動向を注視しながら、全国一律の公的補助制度の創設に向けた働きかけを行うと共に、様々な聞き取り調査などを行ない、補聴器助成に関する検討を始めていく。



澤田議員

## クマの緊急銃猟について

澤田議員

①街中における熊の駆除について、警察官職務執行法での

駆除判断の遅さによることから緊急避難的に銃猟を行えるよう法改正されたところだ

が、周辺住民の避難指示、交通規制、地権者との調整等の安全確保、また、ハンターへの腕章交付等、手順が煩雑で時間がかかるのが問題だ。

また、これら一連の流れを速やかに行うにはマニュアル作成が必要だが、北海道では10月時点で13自治体が作成しているにすぎない。職員が責任を持って判断を下すことが出来るのか。そして、ハンターがその指示に従えるのか疑問だ。緊急銃猟を目指すならばマニュアルが必要だが、その考えはあるか伺いたい。

②法改正に伴い、自治体向けに生命・障害・物損リスクに対する保険ができたが、ハンターに対する免責については明確ではない。ハンターにとっては最大のリスクといえるが、この点をどう考えているのか伺いたい。

③市街地に熊が留まった時に、警察の狙撃隊が要請により遅延なく現場に来てもらえるのか伺いたい。

緊急銃猟は北海道警察と連携して、町長がハンターに依頼し行うものだが、マニュアルの作成について、北海道警察や他の自治体等を参考にしている。法改正はされたが、現状では様々な問題があり検証が必要だ。熊対策は、災害対策として位置付けているので、ハンターの免責について国と道に申し伝える。

緊急銃猟時には手順が必要だ。事態が発生した場合、現場での射撃の判断を下すのは誰なのか。人的な被害が発生した場合のハンターの免責が明確になるよう、警察に申し入れていただきたい。

街中で事態が発生し、警察の狙撃隊を要請しても現状ではとても間に合うとは思えない。地方自治体は、警察官職

務執行法による射撃命令を速やかに出してもらう事を要請すべきだと思う。

佐々木町長

基本であり、有害駆除なので許可を受けた者でなければ駆除できないが、檻に入った熊

頼し行うものだが、マニュアルの作成について、北海道警察や他の自治体等を参考にしている。法改正はされたが、現状では様々な問題があり検証が必要だ。熊対策は、災害対策として位置付けているので、ハンターの免責について国と道に申し伝える。

緊急銃猟時には手順が必要だ。事態が発生した場合、現場での射撃の判断を下すのは誰なのか。人的な被害が発生した場合のハンターの免責が明確になるよう、警察に申し入れていただきたい。

街中で事態が発生し、警察の狙撃隊を要請しても現状ではとても間に合うとは思えない。地方自治体は、警察官職

務執行法による射撃命令を速やかに出してもらう事を要請すべきだと思う。

佐々木町長

基本であり、有害駆除なので許可を受けた者でなければ駆除できないが、檻に入った熊

頼し行うものだが、マニュアルの作成について、北海道警察や他の自治体等を参考にしている。法改正はされたが、現状では様々な問題があり検証が必要だ。熊対策は、災害対策として位置付けているので、ハンターの免責について国と道に申し伝える。

緊急銃猟時には手順が必要だ。事態が発生した場合、現場での射撃の判断を下すのは誰なのか。人的な被害が発生した場合のハンターの免責が明確になるよう、警察に申し入れていただきたい。

街中で事態が発生し、警察の狙撃隊を要請しても現状ではとても間に合うとは思えない。地方自治体は、警察官職

務執行法による射撃命令を速やかに出してもらう事を要請すべきだと思う。

佐々木町長

基本であり、有害駆除なので許可を受けた者でなければ駆除できないが、檻に入った熊

頼し行うものだが、マニュアルの作成について、北海道警察や他の自治体等を参考にしている。法改正はされたが、現状では様々な問題があり検証が必要だ。熊対策は、災害対策として位置付けているので、ハンターの免責について国と道に申し伝える。

緊急銃猟時には手順が必要だ。事態が発生した場合、現場での射撃の判断を下すのは誰なのか。人的な被害が発生した場合のハンターの免責が明確になるよう、警察に申し入れていただきたい。

街中で事態が発生し、警察の狙撃隊を要請しても現状ではとても間に合うとは思えない。地方自治体は、警察官職

務執行法による射撃命令を速やかに出してもらう事を要請すべきだと思う。

佐々木町長

を止め刺しするには経験の積んだ者でなければ難しいので、不在の場合の対応に課題がある。

若手の猟友会メンバーが、射撃場で訓練を積んで、いざというときに対応していく必要があるが、弾丸も高騰していて、一発1,500円以上し、10発では15,000円以上かかる。若手ハンター育成のため、上限を決めて助成措置を考えていただきたい。

②近隣の沼田町、秩父別町、雨竜町等、鹿や熊捕獲のためにお互い協力し合える仕組みを行政が主導して働きかけていただきたい。

#### 佐々木町長

今年の熊の捕獲駆除は14頭となった。若手ハンターの活動に伴う経費が大きな負担となっており、新たな課題と考えている。

町単独では限界があるので近隣市町との連携が重要であり、協議を進めて猟友会とも相互に連携を強化して対応する必要があると考えている。

## 12月11日 子ども議会を開催

12月11日、定例会の前に真竜小学校6年生による子ども議会が開催されました。6年生の生徒11名は、議長1名、議員10名に分かれ、議員10名はそれぞれ質問を述べ、町長や教育長より答弁をいただきました。子ども達の素直な意見が出され、とても充実した子ども議会でした。小学生の皆さんをはじめ先生方の協力をいただきありがとうございました。

### 子ども議会の一般質問

- ① スキー場でのイベントについて
- ② 公園の草刈りや落ち葉拾いについて
- ③ 遊具施設の設置について
- ④ 改善センターの休館日について
- ⑤ 街灯について
- ⑥ 熊対策について
- ⑦ 北竜町の宿泊施設について
- ⑧ 夜のひまわりまつりについて
- ⑨ 習い事について
- ⑩ 北竜町のお店について



議事進行を行う藤田悠乃議長



子ども議員による一般質問

### 『日和見菌』

極寒のこの時期はライフワークの仕込みの季節。菌だの発酵だの目には見えない豊かな働きを、ゆったりと過ごす時間の中で親しむのです。

味噌・甘酒・塩こうじ・味噌等々、仕込みの基となる糀作り。毎回出来は違っているのが興味深く、数カ月振りに仕込むときは多少時間がかかる。しかし二度目三度目となると空気中に浮遊する菌に助けられて菌糸が元気一杯に成長を始め、香しくふわふわの糀が出来上がるのです。

糀菌の働きに関わるメンバー割合は、善玉菌2割・日和見菌7割・悪玉菌1割。



糀づくりの回を重ねるうちに上手に出来るのは、日和見菌が善玉菌の応援を始め、基となる糀菌が有能活発に働いてくれるためです。

この「日和見菌」は善玉悪玉どちらにも変化することが可能ということ。普段はおとなしく「善」を応援しているのに、一旦悪玉が増えて環境が弱くなる「悪」の味方をするから堪らない。信じちゃいけない日和見菌。でも大切なのは悪を絶やすより、善が日和見仲間を増やしてバランスを維持すること。何か親近(菌)感で興味深いマクロの世界です。

(尾崎 圭子)

